

## 全国的にみて、ありがちな事例

(注：各務原市のことではありません。本・新聞・インターネット等のいろいろな情報や、研修会など他市町村の福祉専門職との交流の場で多く聞いた話をもとに、典型的な例としてまとめました)

### ①町内の方から・・・・・・・・



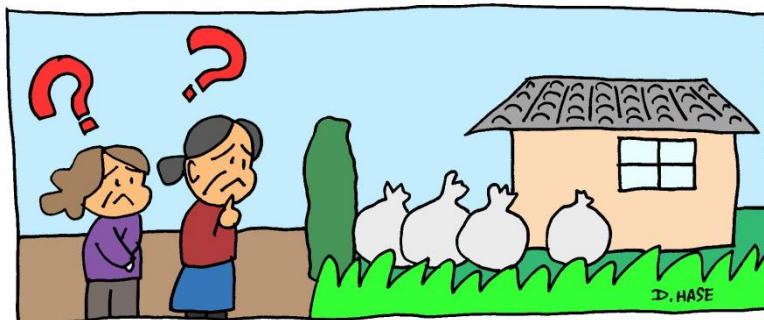
町内に80歳過ぎのおじいさんが一人暮らししています。転びそうになりながら外を歩いていたり、実際に転んでいたのを助けたこともあります。

自分でみそ汁ぐらい作って食べているらしいけど、本人は「ボケて来たのか、近頃火をかけたまま忘れる」と笑いながら言っていて、内心笑いごとじゃないと思いました。

腰痛がひどいときはゴミ捨てもできなくてお困りだったので、町内会で話し合い、火のことも心配だし、様子を見る意味も含めて、隣近所で声かけ合って、ゴミ出しなんかも手伝ったりしていました。まあ、みんなで協力して見守っていたんです。隣の市の息子さんもたまには来ていたらしいけど、だいたい夜遅くだからお会いしたことはなかったね。

ところが、ある日突然いなくなって、どこかへ行って帰れなくなったんじゃないかとみんなで大騒ぎしましたが、新聞はちゃんと止められていたから大丈夫とも思っていました。結局、家で転んで肩を骨折して入院していたらしい。

それで、しばらくしたらまた知らないうちに帰ってきて、デイサービスに行き始めたようです。そういうところに行くなら大丈夫かな、とも思ったけど、デイサービスは週に1回か2回だけ。息子さんも、前よりは来ているみたいだけど、まだ本人は自分でご飯を炊いているみたいだし、ゴミも、誰がやってるのか知らないけど、出したり出さなかったり



で、けっこうたまってきた。デイに行かない日や夜は一人だし、状況は全然変わっていない。それどころか、お体が以前にも増して不自由なので、もっと心配になりました。

この間、息子さんに偶然お会いしたけど、無愛想に頭を下げるだけで何の話もありませんでした。息子さんはみんなで協力して見守っていたことを全然知らないんじゃないかね。町内としても、このままではいけないような気がするんですけどね……。

## ②週に何度も通って様子を見ている娘さんから……

うちの母は80歳過ぎで一人暮らし。自分の身の回りのことや簡単な調理は何とか自分でできているけど、買い物やちゃんとしたおかずを作ったりはできないので、私が週3回買い物に連れて行ったり、おかずを届けたりしています。病院だけでなく接骨院にも送り迎えしています。

デイサービスとヘルパーさんと、私との買い物なんかで、何とか生活しています。

そんな母に町内の神社の係が回ってきて、母は「できない」とお願いしたけど、町内は高齢者ばかりで、「もっと高齢でも全員やっているから」と言われ、「係ができないなら、一緒にお参りしてもらおう名簿から外す」と言われたらしい。私はよく意味がわからないんですけどね。

母の町内は、朝早くから夜遅くまで働いている人が、高齢者が多いから、認知症が少しでもひどくなったり、近所の手を借りるようになると、町内みんなが「ご家族が引き取るか、施設に入ってもらわなければ困る」と言ってくるらしい。そんなこんなで去年も母の友達が一人施設に入りました。でも、私も嫁ぎ先のおじいさんの面倒を見ているので、引き取るなんて絶対にできません。



私としては、近所の人が「まあ仕方ないかな」と、ある程度のことは大目に見てくれば、もう少し今のまま生活できるんじゃないかな、とも思います。あれこれ手伝ってくれ、とは言いませんので。一応施設にも申し込んでありますけど、順番はなかなか来ませんし……。